

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月28日

計画の名称	山田町宅地耐震化推進事業（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											
交付対象	山田町											
計画の目標	本計画は、宅地耐震化推進事業の促進を図るために第二次スクリーニング調査を行い、今後の滑動崩壊対策につなげることで災害に強い安全な地域づくりを推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	29	A	29	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	
		(R2当初)	(R3末)	(R6末)	
1	第二次スクリーニング計画を作成し、第二次スクリーニングを行っていく順番の公表を行う。 大規模盛土造成地の調査の実施順を公表 公表箇所／調査対象箇所	0%	100%	100%	
2	第二次スクリーニング計画により優先度が高いと評価された大規模盛土造成地に対し、地盤調査を実施し、安全性の公表を行う。 大規模盛土造成地の安全性の公表 調査結果公表箇所／調査対象箇所	0%	0%	100%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	山田町	直接	山田町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画	山田町					3	-				
	A13-002	宅地耐震	一般	山田町	直接	山田町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング調査	山田町					26	-				
												小計				29					
												合計				29					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合交付金事業の事後評価として山田町で実施	令和7年11月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地の位置や規模を把握し、調査優先度の高い箇所の地盤調査を行い、盛土造成地の安全性及び対策工事の必要性を確認した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
地盤調査（3箇所）の結果により、盛土全体が滑動崩落する可能性は低いため、経過観察対応していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	